

(様式3)

事業所名 グループホーム寿和寮

目標達成計画

作成日: 令和 6年 7月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	看取りに対する方針をもう少し明確にする。	利用者の重度化、看取りについてご家族の理解を得る。	・入所契約時に、ご利用者とご家族に重度化した場合や終末期の思いを確認している。 ・入所後、重度化した場合は、医療との連携をしっかりと図り、現在の状態からグループホームでできること、できないことを説明して、ご家族に了承を得る。	3ヶ月
2	27	ケアの気づきが、記録に残されていない場合があり、職員間での情報共有がうまくいかないことがある。	日々の様子だけでなく、気づきも職員間で共有し、主治医に報告をしっかりとすることで、心身の異常の早期発見、ケアの見直しに繋げる。	・業務日誌や職員連絡ノートに気づきを記録した内容を、申し送りや会議で話し合い、介護計画に活かしていく。 ・記録の内容を受診、往診時に主治医にしっかりと伝える。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月